

— 教科 —

総合的な 学習の時間

実施時間
2時間

市の除排雪の取り組みへの理解や環境の学習活動に活用できる!

冬みちアドバイザー認定講座

学年・単元 3~6年:地域の安全を取り扱う内容の単元

学習効果
UP
ポイント

- 冬みちの安全面について学習する中で、誰に伝えるか対象をそれぞれ考えて調査すると良い。
- 自分の学校の子どもたちに伝えるのであれば、通学路を調査し、マップにまとめて発表する。
- 地域の人へ伝える場合、お店や公共物の辺りを調査し、マップにまとめて、地区センターなどに掲示する。



1 背景と取組のねらい

札幌市が実施している市民意識に関する調査では、力を入れてほしい事業として「除雪に関すること」がほぼ毎年度筆頭に挙がっており、市民の除雪など雪対策への関心は極めて高く要望事項も多い。しかし、雪対策には要望に基づく行政活動のみでの対応は難しく、市民と企業、行政の協働が不可欠である。

本講座は、基礎講義と複数の体験型授業を組み合わせる。

ねらい

受講者は「冬みちアドバイザー」として認定することで、雪対策に対する関心を高めることで、将来の雪対策における協働を目指す。

2 実施内容

体験授業は他授業に変更可

実施の流れ

基礎
講座

- ・12月(冬休み前)に、雪に関する基礎講座を出前講座で行う。
- ・授業終了後、児童に紙芝居を配布する。
- ・3学期(冬休み後)の体験授業までに、児童の通学路を観察するようアナウンスする。

体験
授業

- ・2時限実施。1時限目は「スクールゾーン冬みちマップ作成体験」(45分)を実施。
- ・2時限目は「除雪の電話説明体験」(30分)と認定証授与式(10分)を実施。



作成したマップの発表

【電話説明体験】

苦情を言う人
「要望者」



要望(苦情)の説明

対応の説明



苦情に対して
説明をする人
「対応者」

目的

認定証を授与することで、児童の達成感を高め、雪対策についても関心を高める。

注意
ポイント

- 認定証は各区土木センターで用意する。
- 認定証の記載内容については、事前に各区土木センターと協議すること。